

岐阜市の

みんなの森

ぎふメディアコスモスってなあに？



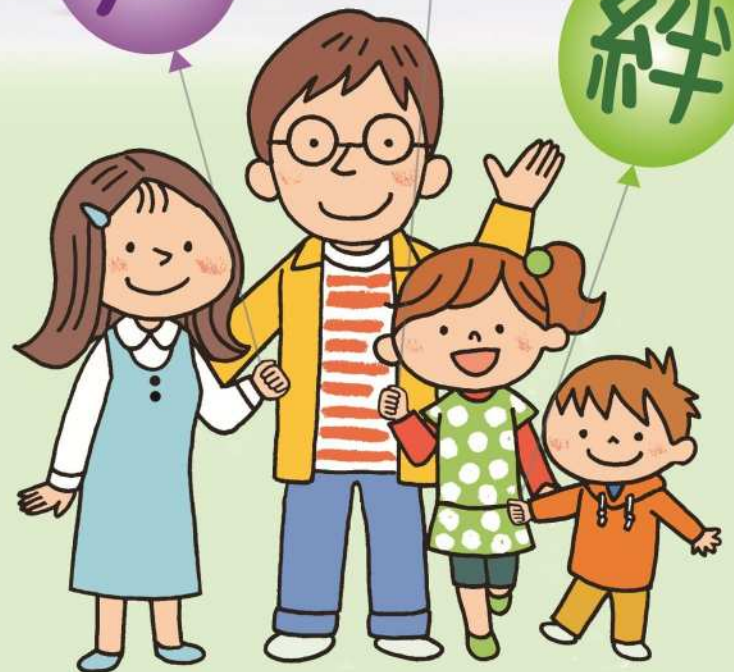
文化

知

絆

つかさのまち夢プロジェクト

Q&A



Q&A つかさのまち夢プロジェクト

目次

- Q1 つかさのまち夢プロジェクトってなあに？ 1
- Q2 今までこのプロジェクトはどうやって進められたの？ 2
- Q3 今、なぜ図書館をつくるの？ 3
岐阜市には県立図書館があるのに…。
- Q4 みんなの森ぎふメディアコスモス（複合施設）ってなあに？ 4
- Q5 1階はどうなっているの？ 5
- Q6 2階はどうなっているの？ 6
- Q7 （仮称）中央図書館ってどんな図書館になるの？ 7
- Q8 （仮称）市民活動交流センターって？ 8
- Q9 展示ギャラリー等って？ 8
- Q10 環境への取り組みは？ 9
- Q11 建物の構造はどうなっているの？ 10
- Q12 （仮称）憩い・にぎわい広場には何ができるの？ 11
- Q13 設計する人はどうやって決まったの？ 12
- Q14 伊東豊雄さんはどんな人？ 12
- Q15 このプロジェクトはすごくお金がかかりそうだけど大丈夫？ ... 13
- Q16 駐車場は十分にあるの？ 13
- Q17 このプロジェクトはいつ完成するの？ 14



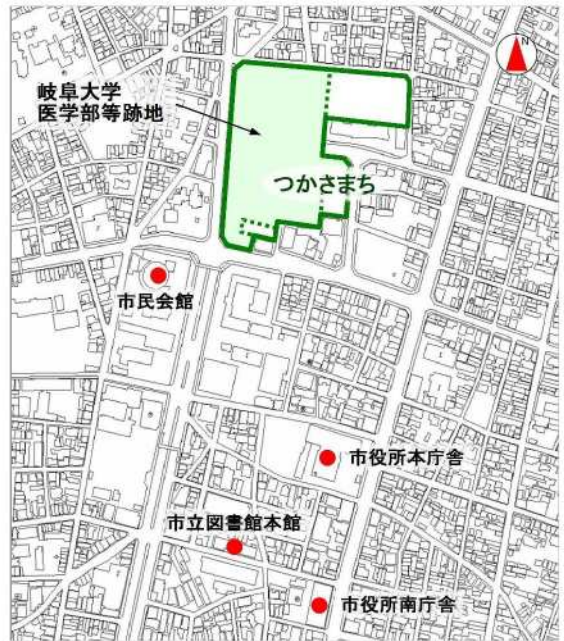
Q1 つかさのまち夢プロジェクトってなあに？

未来への「夢」をつなぐ事業

市民のみなさまの夢が詰まった、新しい時代の「つかさのまち」づくりです。

プロジェクトは段階的に進めていきます。

- 第1期 ● みんなの森ぎふメディアコスモス（複合施設）
 - （仮称）憩い・にぎわい広場
- 第2期 ● 行政施設想定
- 第3期 ●（仮称）市民文化ホール想定（現岐阜市役所敷地）
（H22.10 岐阜大学医学部等跡地整備基本計画より）

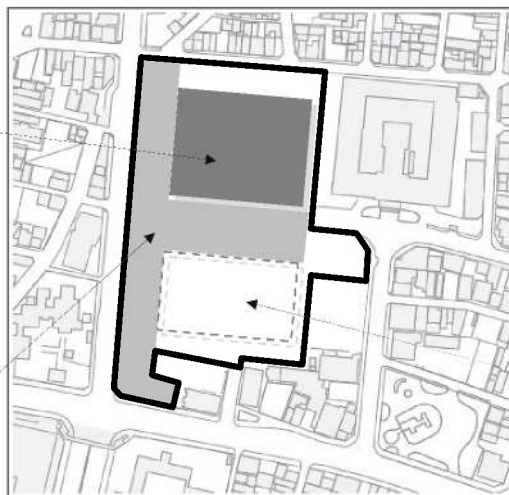


- ・ 司町（つかさまち）は、昔の人が地域や街の発展を願って、県庁移転を実現させたところです。
- ・ この未来志向の場所を舞台に、「知」「文化」「絆」の拠点を整備するなど、市民のみなさまを主役とした新しい時代の「つかさのまち」づくりという、未来への「夢」をつなぐ事業です。

みんなの森 ぎふメディアコスモス

- ・（仮称）中央図書館 知の拠点
- ・（仮称）市民活動交流センター 絆の拠点
- ・ 展示ギャラリー等 文化の拠点

（仮称）憩い・にぎわい広場



行政施設想定

（仮称）市民文化ホール想定
（現岐阜市役所本庁舎敷地）



Q2 今までこのプロジェクトはどうやって進められたの？

みなさまの「夢」をかたちに

みなさまの意見をもとに計画を進めてきました。

つかさのまち夢プロジェクトは、10年程前からつかさまちを将来どうしていくか、どのような機能を導入するか、施設をどのように配置するかなどを市民のみなさまのご意見を伺いながら、専門家の方々と議論し、進めてきました。



以下の経緯で進めてきました。

- H16. 4～6月 市民意見の募集 (要望の高い施設 市庁舎、図書館、商業施設)
- H17. 2月 市民意見の募集 (要望の高い施設 市庁舎、図書館)
- H18. 2月 「岐阜大学医学部等跡地利用計画に係る基本的な考え方」(基本構想)の策定
導入機能：市民活動・交流機能、行政機能、まちの活力を生み出していく機能、協働社会の推進機能
- H18 ～ H21 基本構想を受け、整備施設の具体的な検討
- H22. 7～8月 基本計画(案)のパブリックコメント実施 (意見提出数 市歴代最多の219通)
 - 10月 岐阜大学医学部等跡地整備基本計画の策定
 - 整備施設：第1期整備施設 みんなの森 ぎふメディアコスモス (仮称)中央図書館、(仮称)市民活動交流センター、展示ギャラリー等
 - 第2期整備施設(想定) 行政施設
 - 第3期整備施設(想定) (仮称)市民文化ホール
- H23. 2月 第1期整備施設の設計者の選定 70者の中から伊東豊雄氏が最優秀に(最終審査一般公開)
 - 6月 岐阜小学校の児童から、特別授業を通して新しい図書館について発表を受ける
 - 8月 第1期複合施設の基本設計(案)の公表、市民意見の募集、設計シンポジウムの開催
 - 10月 第1期複合施設の基本設計の公表
 - 12月 (仮称)憩い・にぎわい広場の基本設計(案)の公表、市民意見の募集
- H24. 1月 第1期複合施設の名称の決定 「ぎふメディアコスモス」
 - 2月 (仮称)憩い・にぎわい広場の基本設計の公表
 - 11月 つかさのまち夢シンポジウムの開催
- H25. 6月 (仮称)憩い・にぎわい広場工事着手 みんなの森
 - 7月 ぎふメディアコスモス工事着手、みんなの森フォーラムの開催
 - 12月 並木道の名称の決定「せせらぎの並木 テニテオ」、並木道の一部オープン、オープン記念イベントの開催



Q3 今、なぜ図書館をつくるの？

岐阜市には県立図書館があるのに…。

市民のみなさまが主人公の図書館

そして、新しい図書館により街がにぎわいます。

でも・・・現在の市立図書館本館は、築50数年が経ち、

・エレベーターがなく、バリアフリー対応ではありません。

・閲覧席が少なく、学習環境が十分ではありません。

・本があふれ、書庫の床の上に本を置く状況です。

・背の高い書架で、児童が自分で本を取れないことがあります。



ですから、現在の市立図書館は他の自治体と比べて非常に低い水準です。

人口20万人以上の自治体135（東京23区を含む）のうち
（※ 人口当たり）

（※ H23年度実績：2012日本の図書館・統計と名簿より）

	現状
延床面積	126位
蔵書数	125位
年間貸出数	116位

市立図書館は、家庭・地域・学校での学習や知的好奇心にこたえる、市民のみなさまのための図書館です。

■ 役割

岐阜市には、県立図書館と市立図書館がありますが、その役割はそれぞれ明確です。

市立図書館

- ・地域の課題解決を支援
- ・子どもの読書活動・学習活動を支援（座席数 約910席）
- ・岐阜市を中心とした郷土資料や行政資料の収集と保存

県立図書館

- ・県内公共図書館等への支援
- ・一般社会人の閲覧を優先（座席数 約283席）
- ・専門性・学術性・希少性を考慮した選書

■ 他都市の年間来場者数の事例

	建替え前の年間来館者数	各新図書館の年間来館者数 （開館の翌年度）
岡崎市 （複合施設リブラ）	17万人 （H19年度貸出者数）	→ 159万人
福山市 （まなびの館ローズコム）	38万人 （H17年度）	→ 75万人



みんなの森
Q4 ぎふメディアコスモス（複合施設）って
なあに？

新しいまちの拠点

3つの拠点（知、文化、絆）からなる未来への礎です。



鳥瞰イメージ

- 2階建
- 延床面積 約15,300㎡
- 建築面積 約7,300㎡ ←
ナゴヤドームのグラウンド（13,400㎡）の約半分

知の拠点

（仮称）中央図書館
延床面積：約9,400㎡

人財を育み、未来を拓く
豊かな人間力の形成を目指す



（仮称）中央図書館イメージ

文化の拠点

展示ギャラリーや多目的ホール
延床面積：約4,200㎡

市民のみなさまの趣味や
文化活動の発表の場である



オープンギャラリーイメージ

絆の拠点

（仮称）市民活動交流センター
延床面積：約1,700㎡

ボランティア、NPO団体、
市民のみなさまの交流を促し
人の心と心を結び支えあう



交流・談話スペース、協働の広場イメージ

みんなの森
ぎふメディアコスモス の名称はこうして決まりました。

■ 決定経緯

施設の名称を募集（平成23年9月から11月）

↓
全国868人から1,386点の作品

↓
より施設のイメージ・想いに近い作品のキーワードを組み合わせで決定

■ 名称に込めた想い

「知と文化、絆」を育む情報の拠点として、国内は言うに及ばず、宇宙にまでも広がりを持たせる施設となることを期待しています。

また、緑を含め、施設を使われる市民が主人公であるという意味を込めて、「みんなの」という言葉を加えました。



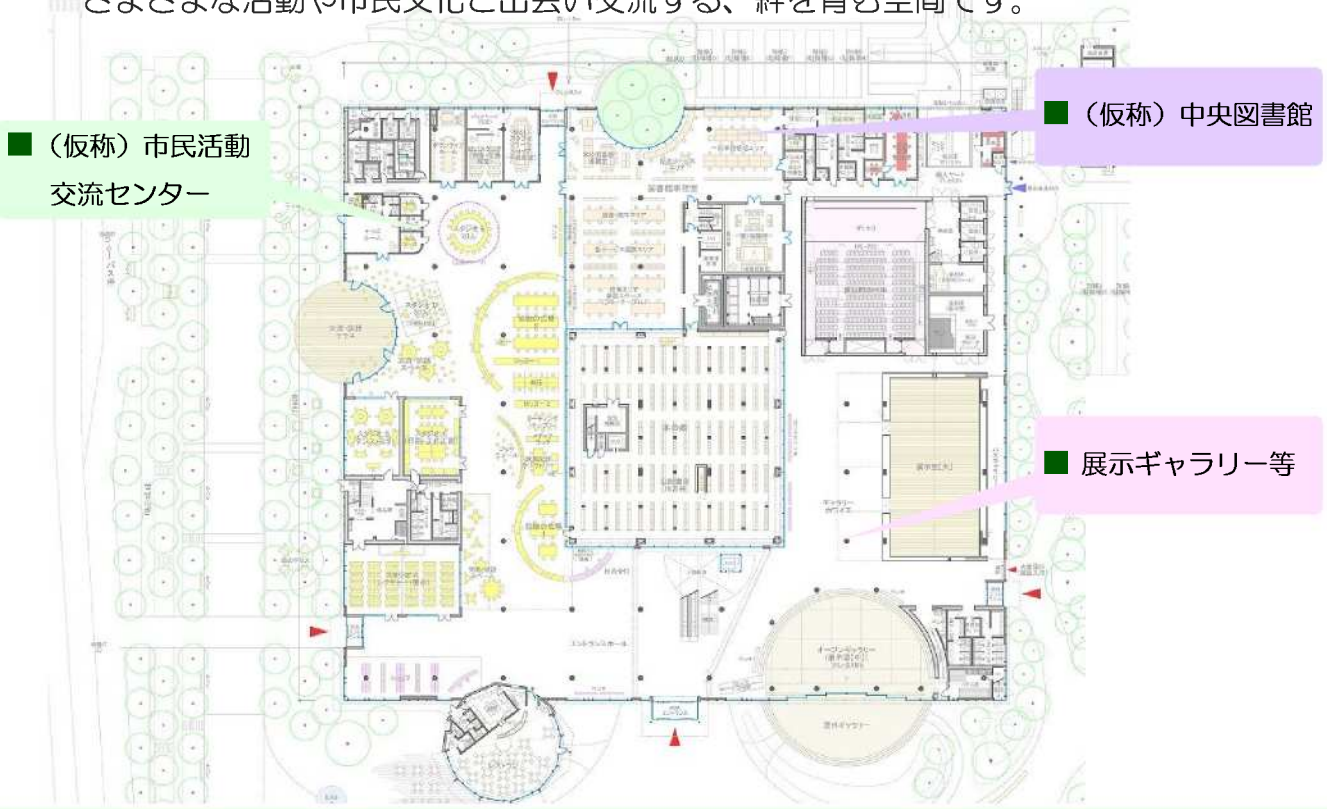
メインエントランス前イメージ



Q5 1階はどうなっているの？

出会い、交流、絆の場

さまざまな活動や市民文化と出会い交流する、絆を育む空間です。



■（仮称）市民活動交流センター

- ・協働の広場
- ・スタジオ (A~E)

収容人数

- A 100人
- B 50人
- C 50人
- D 30人
- E 20人

- ・交流・談話スペース 等

■（仮称）中央図書館

- ・図書館事務室
- ・本の蔵



交流・談話スペース、協働の広場1イメージ

■ 展示ギャラリー等

- ・展示室 (大)
- ・オープンギャラリー
- ・多目的ホール
200席程度
- ・レストラン
- ・エントランスホール 等



協働の広場2、スタジオイメージ



オープンギャラリーから展示室(大)イメージ



Q6 2階はどうなっているの？

「知」と「文化」創造の森

快適な閲覧スペースである11のグローブを、渦巻き状の書架で囲むことで本の森にいます。

■ (仮称) 中央図書館



● 所蔵可能資料数

1階 (本の蔵)	60万冊
2階	30万冊

合計 約90万冊
(開館当初 約30万冊)

● 座席数

デスク席	452席
リファ・テーブル席	290席
インターネット	13席
視聴覚	6席
個室席	49席
テラス席	100席

合計 約910席

1 チャイルドグローブ

児童生徒のための閲覧スペース
大きなテーブルで本を読んだり調べ学習ができるスペース

2 親子グローブ

絵本に囲まれた、親子で過ごせるスペース

3 スタディーグローブ

中学・高校生の勉強に適した自習スペース

4 コンシェルジュグローブ

貸出手続や総合案内のインフォメーション
カウンター
本の蔵へのアプローチも可能

5 エントランスグローブ

1階からのメインアプローチ

6 ブラウジンググローブ

芸術・社会・自然科学などの本に囲まれた
閲覧スペース

7 クイックグローブ

クイックリーに文庫本を読むのに適した閲覧
スペース
インターネットの利用も可能

8 展示グローブ

イベント、時事などのテーマに合わせた図書
紹介や展示のスペース

9 リーディンググローブ

文学や哲学などの本をじっくりと読むことが
できる閲覧スペース

10 レファレンスグローブ

資料の案内や図書の相談などに対応するレファ
レンスカウンター

11 リサーチグローブ

資料性の高い郷土資料を十分に活用できる閲覧
スペース

■ リーディングカフェ

ドリンクを飲みながら本を閲覧できるスペース

■ ブラウジングコーナー

雑誌を手に大きなソファでゆったりくつろぐ
ことができるスペース

■ おはなし会コーナー

子ども達が「おはなし」に集中できる独立した
スペース

■ 金華山テラス

岐阜市のシンボルである金華山を眺望できる
屋外テラス

■ ブラウジングテラス

(仮称) 憩い・にぎわい広場に開放された明るい
テラス
雑誌をリラックスして読むことができる他、
子どもをあやしたり、談話ができるスペース

■ 並木テラス

並木道に面したテラス
気分転換に外気に触れたり、並木を眺めながら
読書や談話ができるスペース

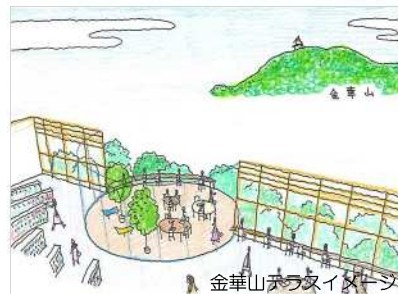


Q7 (仮称) 中央図書館って どんな図書館になるの？

情報を求め、人が集う「知の拠点」

図書館の枠組みを越えた多目的滞在型のくつろぎ空間です。

- 将来約90万冊の本を所蔵
- 座席数を約910席確保
- 魅力あるイベントを開催
- デジタル情報を提供
- 市民のみならず、様々な情報に触れたり、心を休めたり、人との触れ合いを楽しむ拠点となる施設を目指します。



■ 主な特徴

	(仮称) 中央図書館	現本館
①蔵書の拡充	● 蔵書数 約90万冊 (※開館時は約30万冊)	● 蔵書数 約20万冊
②滞在型図書館の促進	● 座席数 約910席 閲覧席・学習席のほか、グループ学習席やテラス席などさまざまなタイプの席を用意	● 座席数 約130席
③ライブラリープログラムの充実	● 文学講座、講演会、セミナー、おはなし会や各種展示企画などを多数企画 多目的ホールやスタジオなど設備の充実した会場で開催	● イベント用の会場の広さや設備が不十分
④情報通信機器の活用	● パソコン、インターネットなど情報機器を活用できる環境を整備 インターネット席を約10席のほか、無線LANが使える環境整備を予定 ● 各種データベース、視聴覚・デジタル資料等を導入予定 ● ICタグによる資料管理 ICを活用した自動貸出機や予約図書セルフ貸出システム等を導入予定	● 利用者用のインターネット端末を1台設置



Q8 (仮称) 市民活動交流センターって？

人と人とを結び「絆の拠点」

さまざまな市民活動を支援します。

- いろいろな人と交流できる場所をつくって、一緒に活動できる友だちや仲間づくりを応援します。
- 「私たちのまちを良くしたい」「人の役に立てる活動がしたい」と思う人に、どうしたらそういう活動ができるか、情報やアイデアを提供します。
- 「私たちのまちを良くするにはどうしたら良いか」について、みんなで一緒に考える機会をつくります。



協働の広場2、スタジオイメージ



交流・談話サロン、協働の広場1イメージ



Q9 展示ギャラリー等って？

発表し交流しあう「文化の拠点」

市民文化との出会い、発見の場です。

■ 多目的ホール 席数200席程度

文学ライブや講演会、市民文化活動の発表会などのさまざまなイベントに利用できます。

■ 展示スペース

□ 展示室 (大)

絵画や書道の展示をはじめ、市民活動の発表展示などもできます。

□ オープンギャラリー

展示をしたり、さまざまなイベントに利用できます。また、展示室やエントランスホールと、あるいは、窓を開放して屋外ギャラリーと一体利用することもできます。



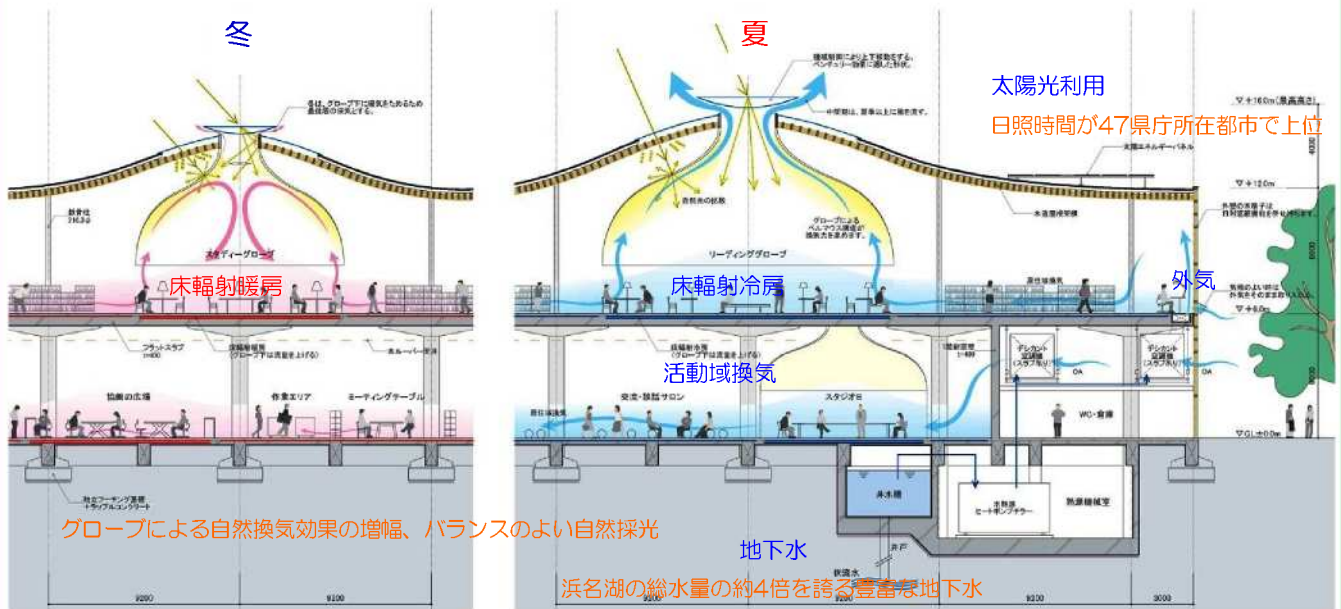
オープンギャラリーから展示室(大)イメージ



Q10 環境への取り組みは？

光や風、熱を活かした呼吸する建物

自然エネルギーを最大限活用し、消費エネルギーを1/2に。



熱源システム等を示した部分断面図

このプロジェクトでは、スマートシティ※を目指して環境に配慮していきます。

※スマートシティ・・・再生可能エネルギーを効率よく使い、環境負荷を抑える次世代環境都市。

■ グローブ

- ・グローブを利用して、建物全体に穏やかな自然換気を促します。
- ・天井から取り入れた太陽光を、グローブが柔らかく拡散させつつ透過させます。

■ 本市の地域特性をうまく使って自然エネルギーを活用していきます。

- ・太陽熱、太陽光を利用して、あかり、電気を産み出します。
- ・豊富な地下水を利用して、^{みんなの森}ぎふメディアコスモスの冷暖房を動かします。

■ 広場のせせらぎの水は、冷暖房で使用した地下水を再利用したあと、地下へ浸透させます。



グローブのイメージ

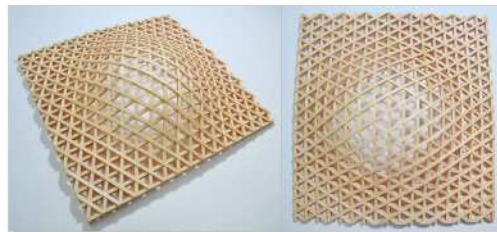
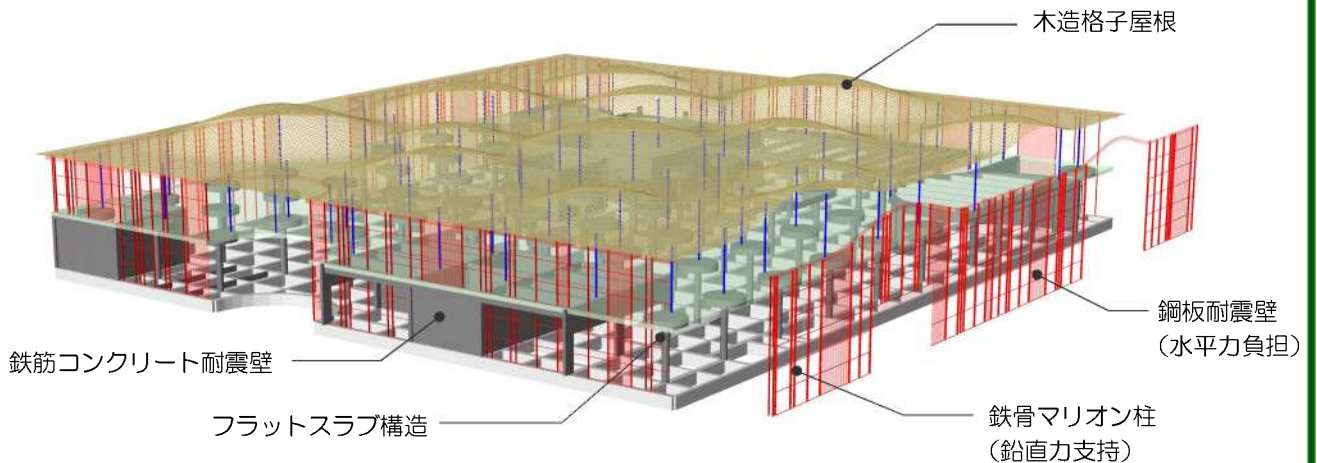


せせらぎ



Q11 建物の構造はどうなっているの？

木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造が混ぜ合わさった混構造^{こんこうぞう}
建物全体を、柔らかな木造の屋根と壁で包み込みます。



屋根架構イメージ



木造格子屋根イメージ

■ 構造

- 1階から2階の床 鉄筋コンクリート造
2階の床は、梁のないフラットスラブ構造（1階を天井の高い開放的な空間に）
- 屋根 軽量な木造構造※で、細い鉄骨の柱で支えられます。
- 外壁 細い鉄骨マリオン柱と鋼板耐震壁により、屋根の外周部を支えます。

※木造格子屋根

- ・ 薄い木材を重ねた木造屋根で、グローブに対応した起伏があります。
- ・ グローブ下はその周辺よりも自然光が多く入る、明るい空間になります。



Q12 (仮称) 憩い・にぎわい広場には何ができるの？

まちなかの親樹空間

4列のカツラ並木と集える広場をつくります。

■ せせらぎの並木 テニテオ

日本原産の落葉高木のカツラによる美しい並木道。
並木の間には、散策のための小径やせせらぎ。



■ コミュニティ・テラス

気軽に足を運び、おしゃべりや休憩できる緑の空間。

■ 四季の小径 (こみち)

四季折々の情景を楽しみながら、たずんだり散策したりできる緑の空間。

■ 市民広場

市民の皆さんがいろいろなことに使える広場。



■ (仮称) 憩い・にぎわい広場の5つのコンセプト

A 都市に開かれ、都市全体へ波及する広場

岐阜駅—長良川—金華山をつなぐ文化の森をつくります。

B にぎわい広場と多様な自然環境

この場所が人々の生活の中心の一つとなるよう、柔軟な使い方ができる外部空間を用意することで、多様な活動を支援します。

C 生物多様性

地域の文化や環境にふさわしい樹種を選びながら、多様性のある森をつくっていきます。

D 災害時の避難、防災機能を付加

災害時、広場が^{みんなの森}ぎふメティアコスモスと連携し、まちなかの避難場所として利用できるよう、被災者の支援活動や救援物資の輸送などが可能となる場所として、建物の外部空間の計画を行います。

E 市民力を活かした整備と管理運営

■ せせらぎの並木 テニテオ の名称はこうして決まりました。

- 名称募集 (H25.8~11月) ⇒ 全国539人のなかから920点の作品 ⇒ 組み合わせて決定
- 選定理由

せせらぎの並木は、岐阜のイメージを表しつつ、安らぎを感じる場になってほしいとの想いと、手に手を取ってを元にしたテニテオは発想が暖かく、おぼえやすく、印象が強いこと。



Q13 設計する人はどうやって決まったの？

設計するのにふさわしい人を選ぶQBS※

国内の著名な設計者70名から、3度の審査を経て決まりました。

※ Qualification Based Selection・・・資質評価方式

H22.10/18

設計者募集開始

70者

H22.11/14

第1次審査

12者

H23. 1/7

第2次審査

3者

H23. 2/6
一般公開

第3次審査
(最終審査)

伊東さんが最優秀に



伊東さんの簡易提案書より



最終審査の会場に詰掛けた観衆



最終審査の開場を待つ観衆の長蛇の列



伊東さんのプレゼンの様子



表彰の様子



Q14 伊東豊雄さんはどんな人？

世界的に著名な建築家

海外、国内で数々の賞を受賞されています。

■ 1941年生まれ

■ 主な受賞歴 日本建築学会賞 作品賞
ヴェネツィア・ビエンナーレ 金獅子賞
王立英国建築協会(RIBA)ロイヤル・ゴールドメダル賞
プリツカー建築賞

■ 主な作品 せんだいメディアテーク(図書館・美術館、2001年、仙台市)
多摩美術大学図書館(図書館、2007年、八王子市)
台中メトロポリタンオペラハウス(劇場、建設中、台湾台中市)





Q15 このプロジェクトは すごくお金がかかりそうだけど大丈夫？

教育立市の実現、都市形成に必要不可欠

国の補助金や交付税を有効活用し、次の世代にできるだけ負担をかけません。

みんなの森
ぎふメディアコスモス と（仮称）憩い・にぎわい広場等をつくるのに約125億円かかります。

土地代	約29.5億円
設計費	約 3.5億円
建設費	約77 億円
図書購入費等	約15 億円

財源（予定）

■ 補助金	<ul style="list-style-type: none"> 国庫補助金 	約39億円
■ 基金（貯金）	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜大学医学部跡地整備基金 図書館整備基金 	約12億円 約14億円
■ 起債	<ul style="list-style-type: none"> 合併特例債 	約56億円（7割交付税措置）
■ 一般財源		約 4億円

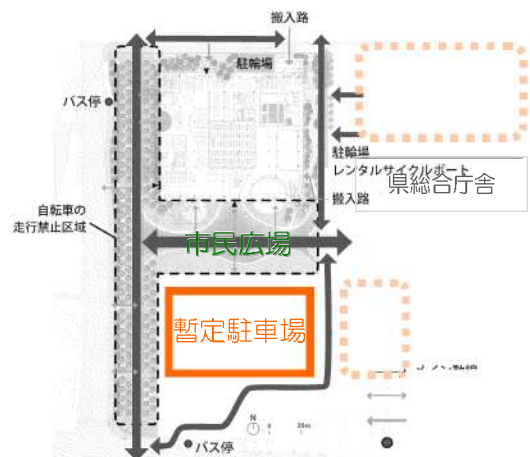


Q16 駐車場は十分にあるの？

公共交通や自転車でお越しの方に便利な施設

駐車場も十分な台数をつくります。

市民広場の南の敷地等を活用し、駐車場の確保を検討します。

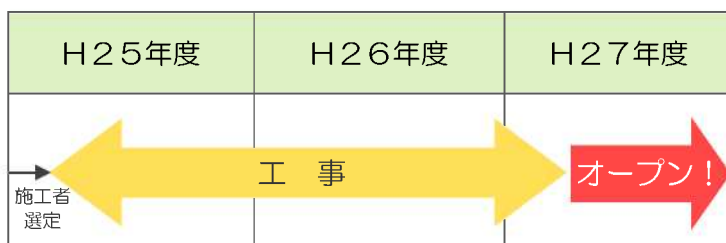




Q17 このプロジェクトはいつ完成するの？

平成27年オープン（予定）

できるだけ早く市民のみなさまへ使っていただくようにいたします。



■ 第1期整備施設（^{みんなの森}ぎふメディアコスモスと（仮称）憩い・にぎわい広場）は、平成27年オープンを目標としています。

■ 第2期整備施設（行政施設想定）と第3期整備施設（（仮称）市民文化ホール）は、中長期計画であり、その時々まちづくりの課題に柔軟に対応するため、段階的に整備を図っていきます。



みんなの森
「ぎふメディアコスモス」の工事状況（H26.3）



「せせらぎの並木 テニテオ」開通式（H25.12.7）

オープンが
とっても
楽しみだね！



■ 問い合わせ先

岐阜市 市民参画部 ぎふメディアコスモス開設準備課 (Tel:058-214-4584 (直通) Fax:058-262-0512 E-mail:ig-mediacosmos@city.gifu.gifu.jp)

市民参画政策課、市民協働推進課、男女共同参画・文化課

岐阜市 教育委員会 図書館

平成26年4月